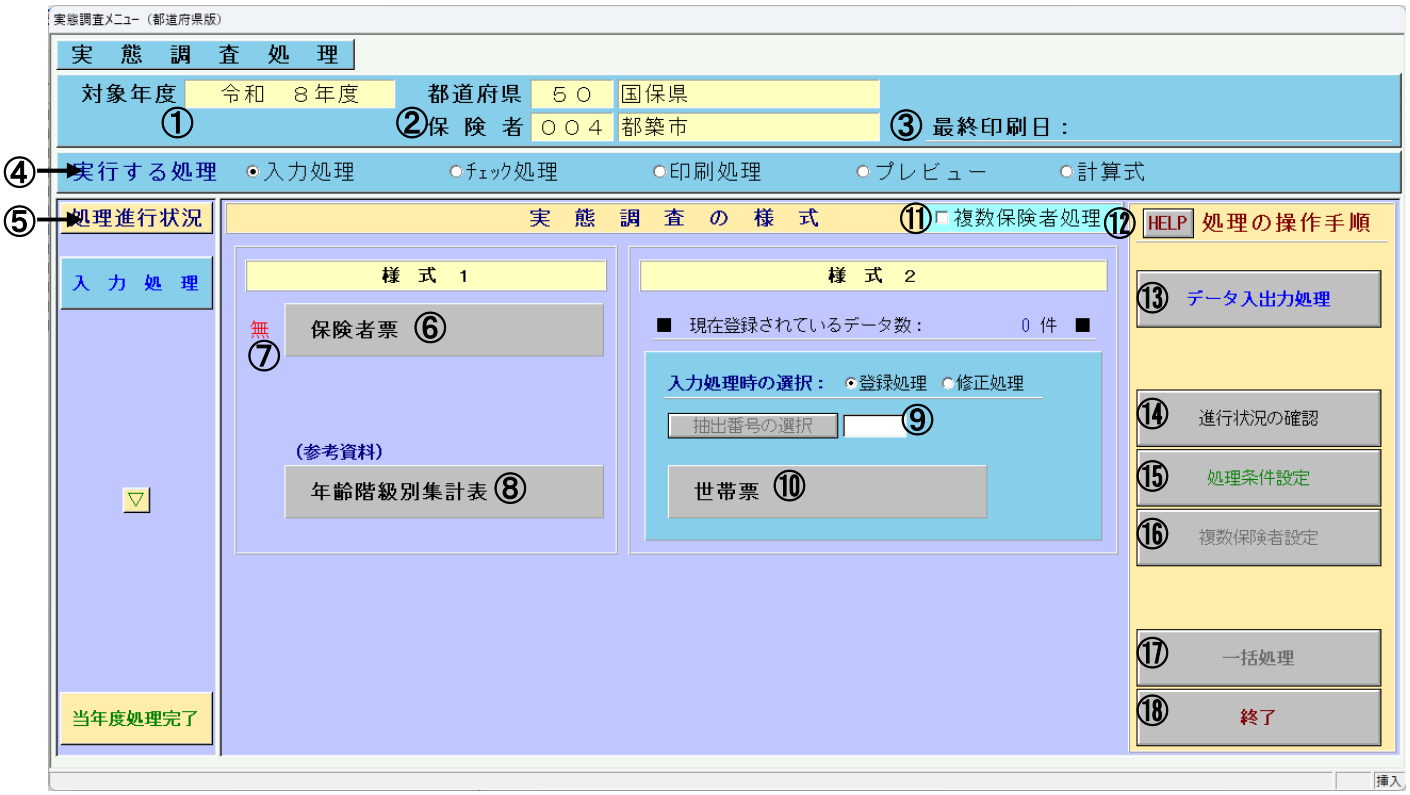
1.「国民健康保険実態調査メニュー」の説明 【都道府県版】

（1）各部の説明



①対象年度

現在の対象年度を表示します。

②都道府県番号・都道府県名・保険者番号・保険者名

設定されている都道府県番号・都道府県名・保険者番号・保険者名を表示します。

③最終印刷日

最後に印刷を実施した日時を表示します。

④実行する処理

入力処理・・・・・・・・修正のある場合のみ、入力処理で修正します。

チェック処理・・・・・・平成27年度版より廃止となります。

印刷処理・・・・・・・・各様式の印刷を行います。

プレビュー・・・・・・・印刷プレビュー（帳票イメージ）画面を表示します。

※処理進行状況には影響しません。

計 算 式・・・・・・・・内部計算仕様を表示します。

⑤処理進行状況

入力処理・・・・・・・・・・・・修正をするために様式を開いた場合のみ緑色になります。修正をして下さい。

当年度処理完了・・・・・・当年度の処理が全て完了すると緑色になります。保険者データの読込みをした時点で当年度処理完了になりますので、印刷・データ作成が必要ならばこちらで処理をします。

⑥保険者票

保険者票の処理を実行します。

⑦無or有

保険者票のデータが無い場合は「**無**」が表示され、データがある場合または保険者票を開いた場合に「**有**」が表示されます。

⑧年齢階級別集計表

各市町村のデータの読込みをすると、市・区・町・村ごとの年齢別階級集計表が作成されます。

⑨世帯票に関するデータ数・検索条件など

世帯票のデータ数や処理をしたい世帯票の検索などを行います。

⑩世帯票

世帯票の処理を実行します。

⑪複数保険者処理

通常時・修正時の印刷処理の際、選択している保険者をまとめて一度に処理することができます。

⑯複数保険者設定で処理を行う保険者の設定をします。

⑫HELP ボタン

当操作手引きを表示します。

⑬データ入出力処理

報告データの作成、保険者データの読み込みをします。

⑭進行状況の確認

保険者毎の進行状況を確認できます。

⑮処理条件設定

保険者の変更をします。

⑯複数保険者設定

印刷処理の際一度に処理する事ができるように、こちらで保険者の設定をします。

⑰一括処理

印刷処理を一括で行えます。

⑱終了

実態調査メニューを終了して、メインメニューに戻ります。

2. 処理条件を設定するには

（1）対象年度の設定

実態調査の処理を起動する際に、実態調査を行う対象年度を設定しなければなりません。



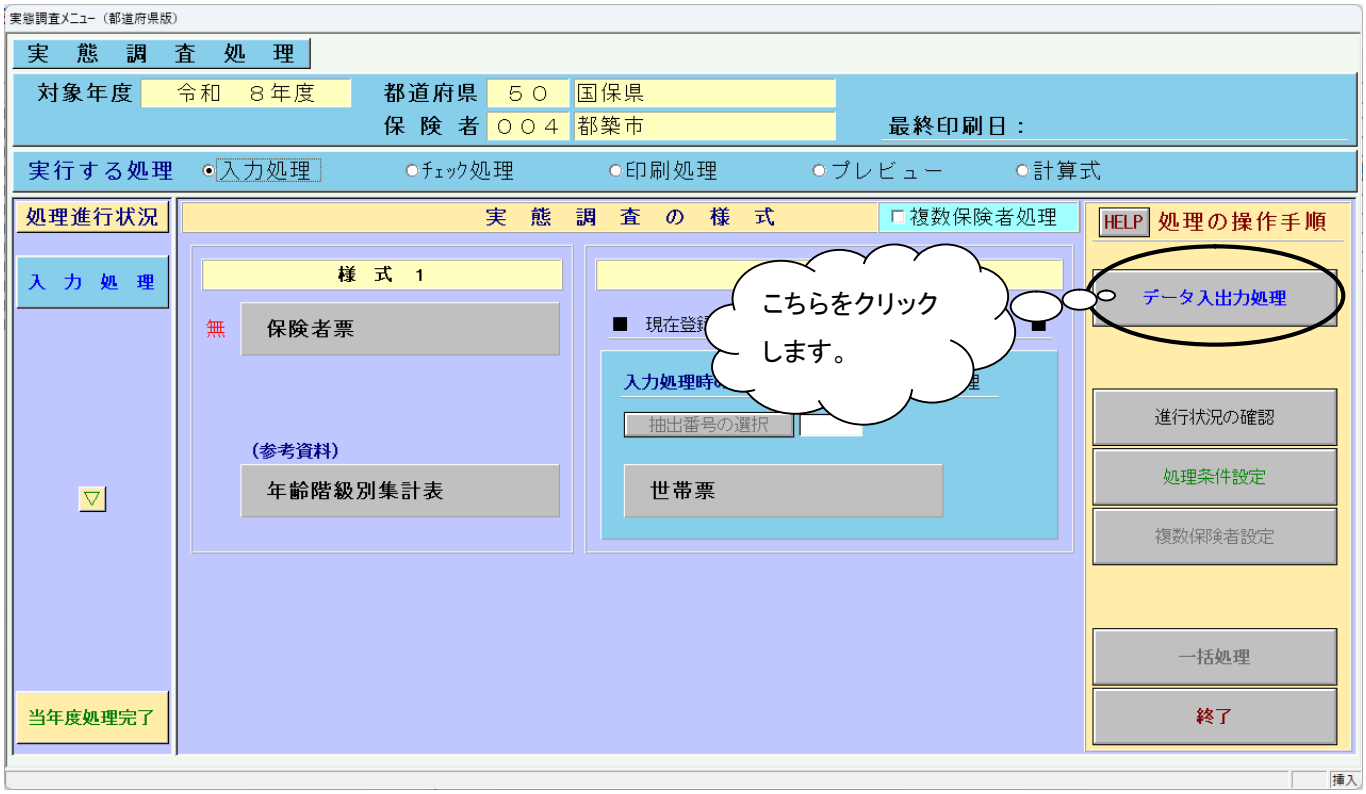
①「**処理年度**」を処理したい年度に切り替えて下さい。

②コクホ・ラインの「**実態調査**」ボタンをクリックしてください。

設定した年度がセットされた状態で実態調査メインメニューが起動します。

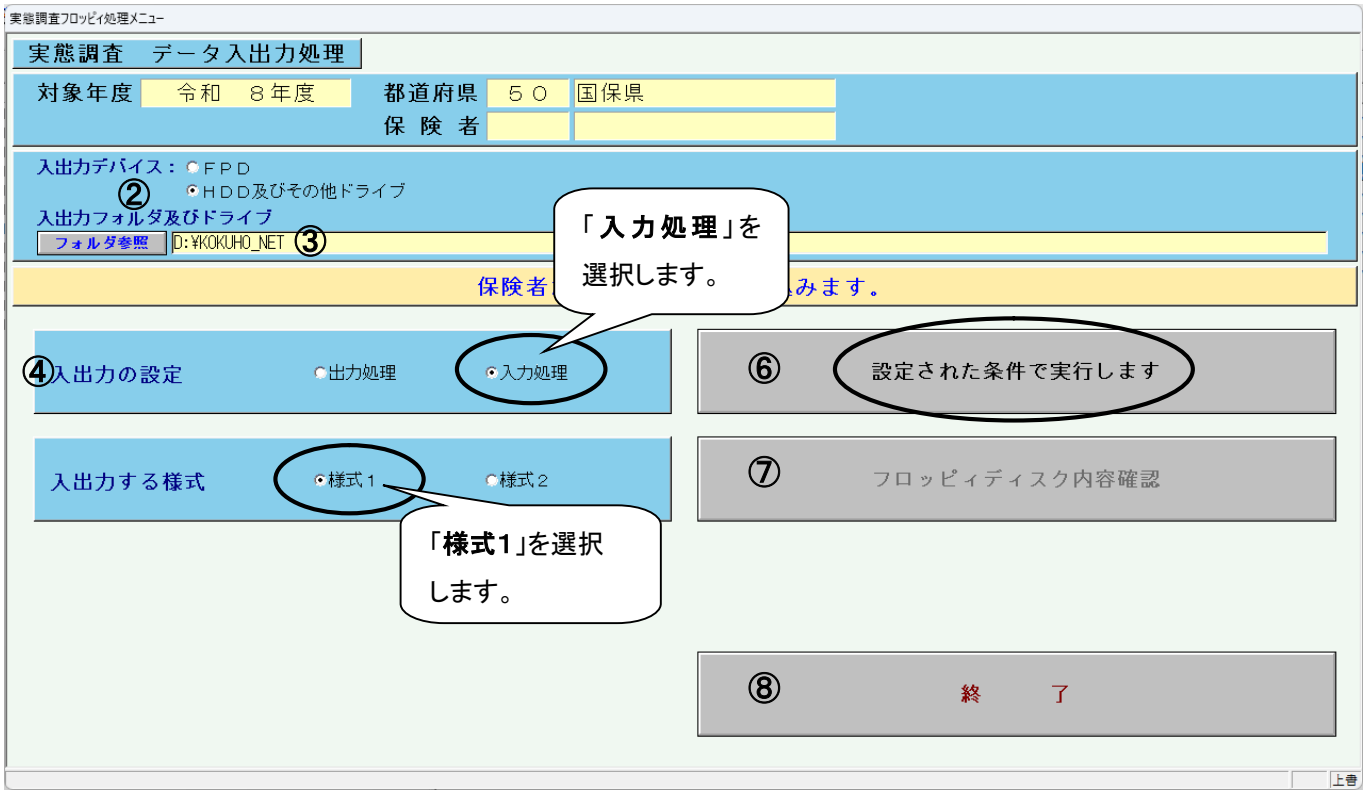
3.「保険者票」を処理するには

（1）「保険者票」データの読込み



①「**データ入出力処理**」ボタンをクリックします。

②データ入出力処理メニュー画面が表示されます。



①設定されている年度／都道府県番号／都道府県名、保険者番号／保険者名を表示します.

※都道府県版および市町村合併対応版では、保険者番号を変更する事が可能です。

②出力及び入力に使用するフォルダおよびドライブを選択します。

③②の使用ドライブで選択されたドライブ名及び、HDDを選択した場合の使用フォルダを表示します。

④報告データを作成する場合は「**出力処理**」、データを読み込む場合には「**入力処理**」を選択します。

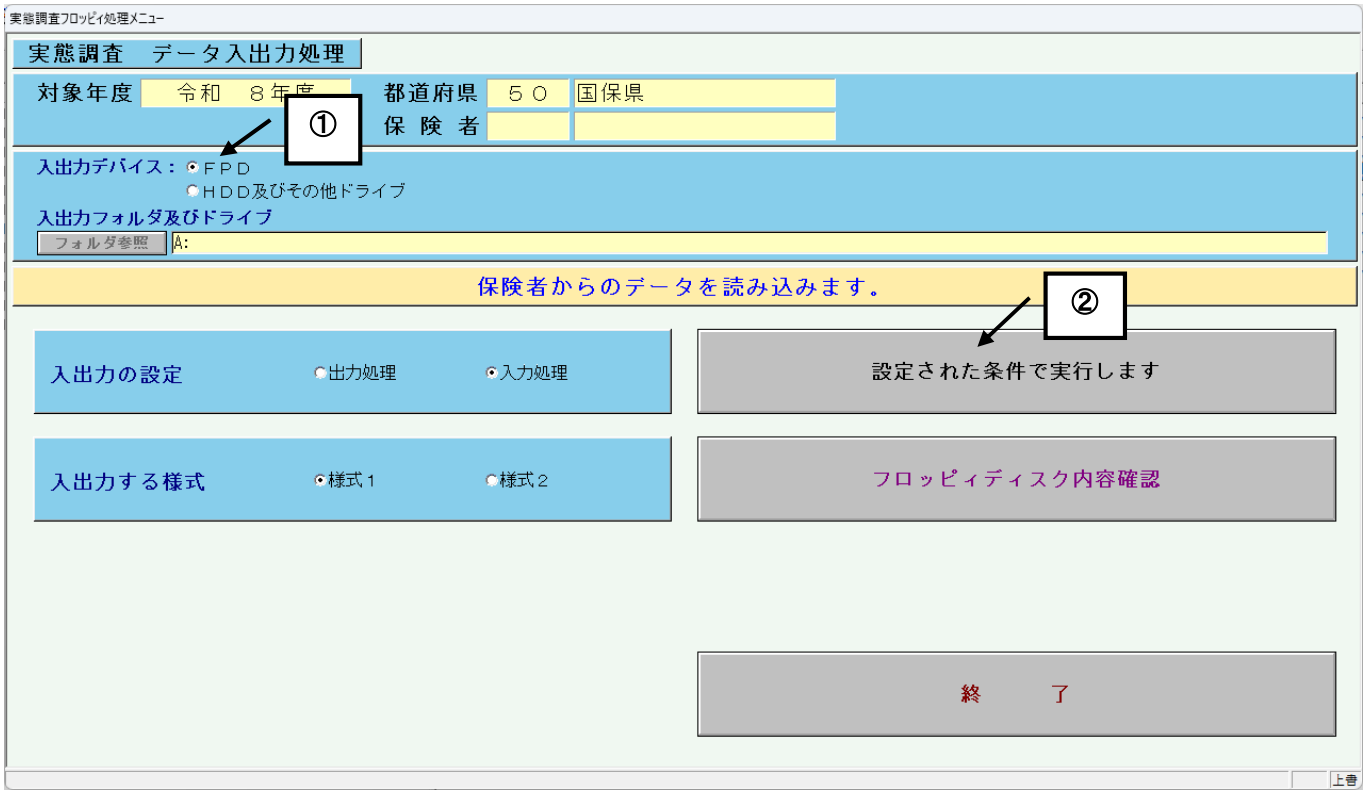
⑤入出力する様式を選択します。

⑥⑤項までに設定した条件で、データの読込（作成）作業を実行します。
全ての条件が設定できましたら、このボタンをクリックして下さい。

⑦フロッピィに作成した場合、フロッピィの内容を確認する事ができます。
確認できる内容は、「**年度・都道府県番号・保険者番号**」です。

⑧データ入出力処理を終了して、実態調査メニューに戻ります。

（ｉ）フロッピィディスクから読込する場合

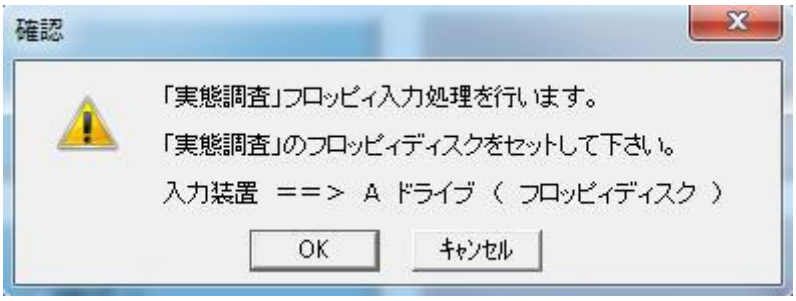


①入出力デバイスを「**ＦＰＤ**」に変更します。　（初期表示時は「**ＨＤＤ及びその他ドライブ**」です。）
変更すると直下の項目に「**Ａ：**」と表示されます。

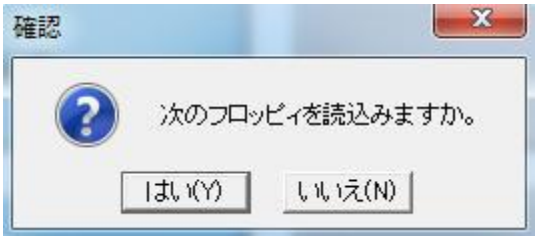
※通常フロッピィドライブが１台のみの場合はＡドライブとなりますが、諸事情によりフロッピィドライブが他のドライブ（例：B:¥等）の場合は、「補助処理」＞「運用環境の設定」よりドライブを変更してください。

②全ての条件の設定ができましたら、読込みをしたいフロッピィをセットし「**設定された条件で実行します**」ボタンをクリックします。

③下図のダイアログが表示されますので、「**OK**」ボタンをクリックします。

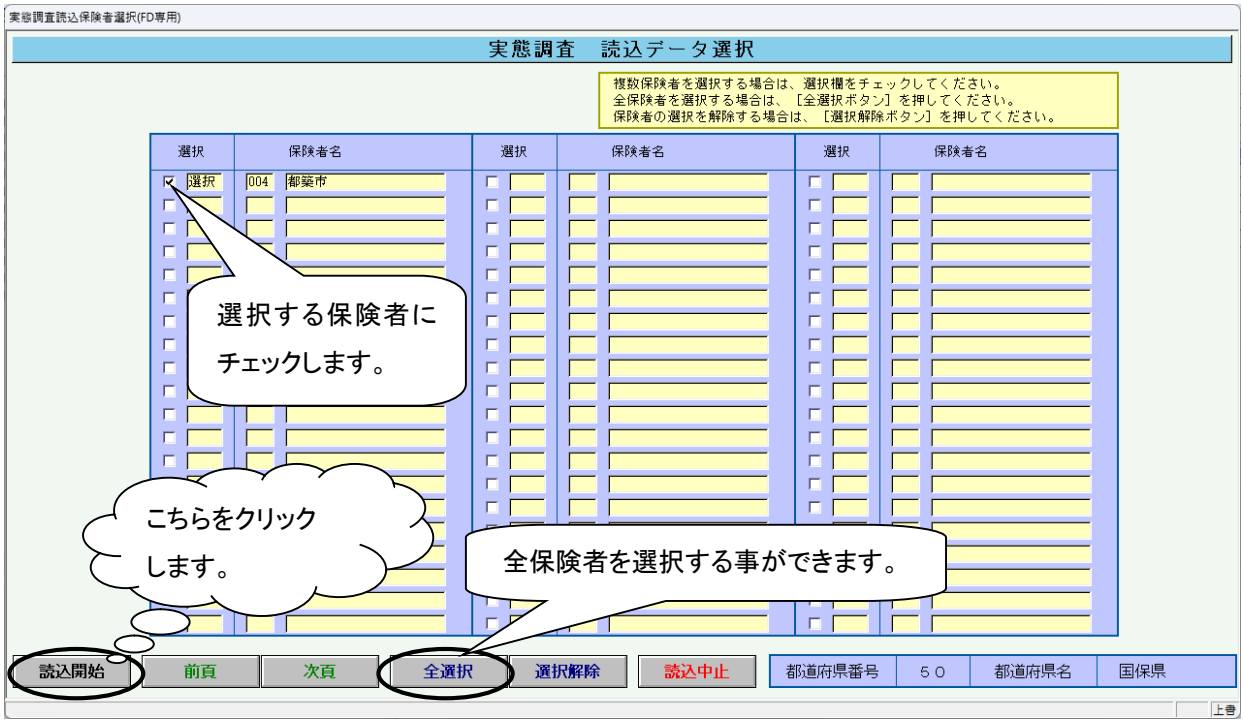


④読込みが終了すると、下図のダイアログが表示されます。



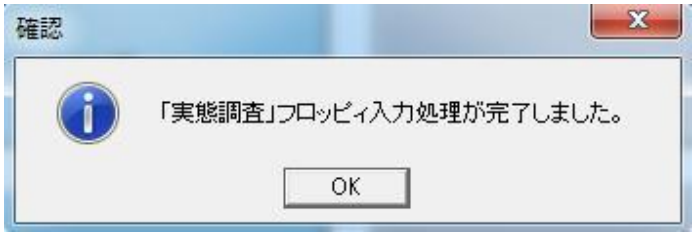
次の保険者のフロッピィを読み込む場合は、**次の保険者のフロッピィをセットし「はい」**をクリックします。
この作業を保険者数分繰り返します。

⑤読込むフロッピィがなくなりましたら、「**いいえ**」ボタンをクリックします。下図の画面が表示されます。



⑥保険者の選択を行います。選択したい保険者のチェックボックスをクリックすると、選択することができます。
選択が済みましたら、「**処理実行**」ボタンをクリックします。

⑦下図のダイアログボックスが表示されます。



「**OK**」ボタンをクリックします。
データ入出力処理の画面に戻りますので「**終了**」で実態調査メニュー画面に戻ります。

（ⅱ）ハードディスクやその他のドライブ（ＵＳＢメモリ等）から読込する場合



① 入出力デバイスに「**ＨＤＤ及びその他ドライブ**」を選択します。
選択すると直下の項目（必須表示項目）に運用環境のドライブ及びフォルダが表示されます。
※ この項目が空白のまま出力処理を実行しますとエラーとなりますので十分注意して下さい。

②「**フォルダ参照**」ボタンよりファイルの保存先が設定できます。（※ 空白時には設定が必須です。）
「**フォルダ参照**」ボタンを押すと、下図のような参照画面が表示されますので、報告データが保存されているフォルダを指定します。



※ ファイルの保存先を変更して、処理を実行しますと運用環境のドライブ及びフォルダが変更したドライブ及びフォルダに更新されます。

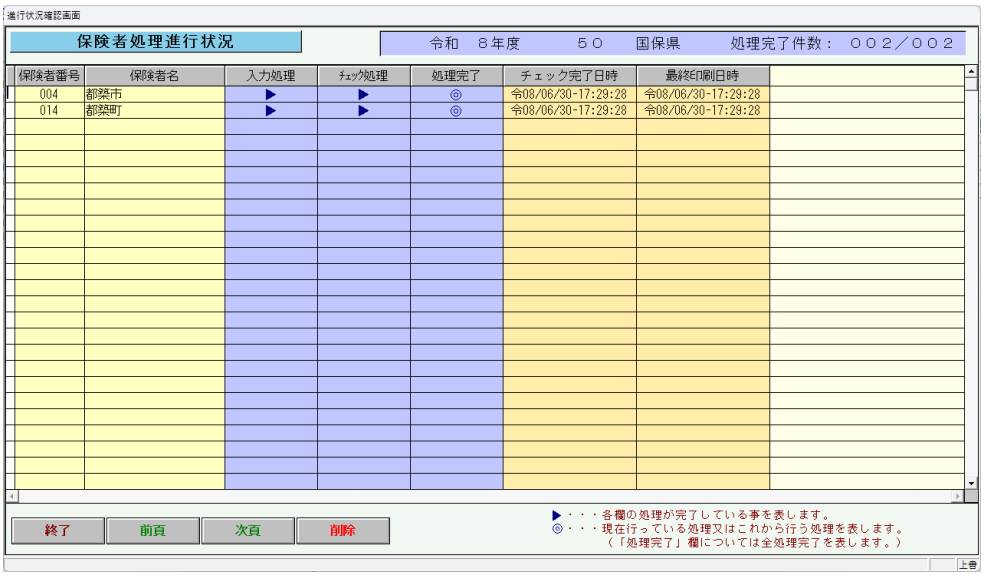
4. 進行状況の確認



保険者データの読込みが終了すると、処理進行状況は「**当年度処理完了**」が緑色になります。

読込みをした保険者の進行状況の確認をする事ができます。

①「**進行状況の確認**」ボタンをクリックします。



※読込みをした保険者全て
が処理完了になっています。

5.「保険者票」の印刷処理

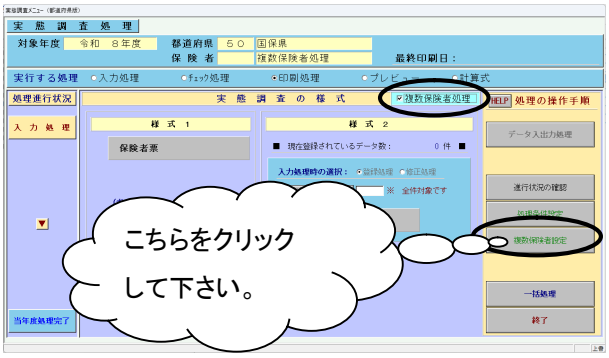
印刷処理が必要な場合、行って下さい。

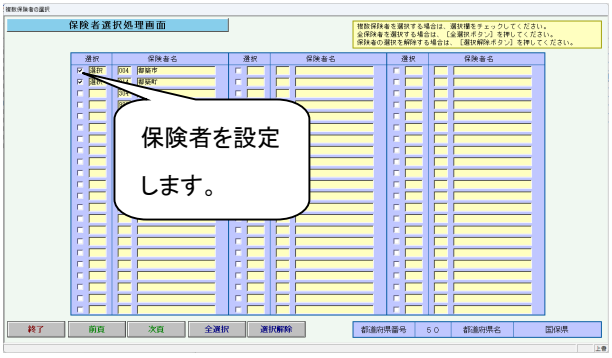


①実行する処理で印刷処理を選択します。

②「**保険者票**」ボタンをクリックすると、設定されている保険者の保険者票が印刷されます。

≪複数保険者処理で印刷するには≫





①実行する処理で印刷処理を選択します。

②「**複数保険者処理**」にチェックします。

③「**複数保険者設定**」ボタンをクリックします。

④設定をしたい保険者のチェックボックスにチェックを入れ、「**終了**」ボタンで閉じます。

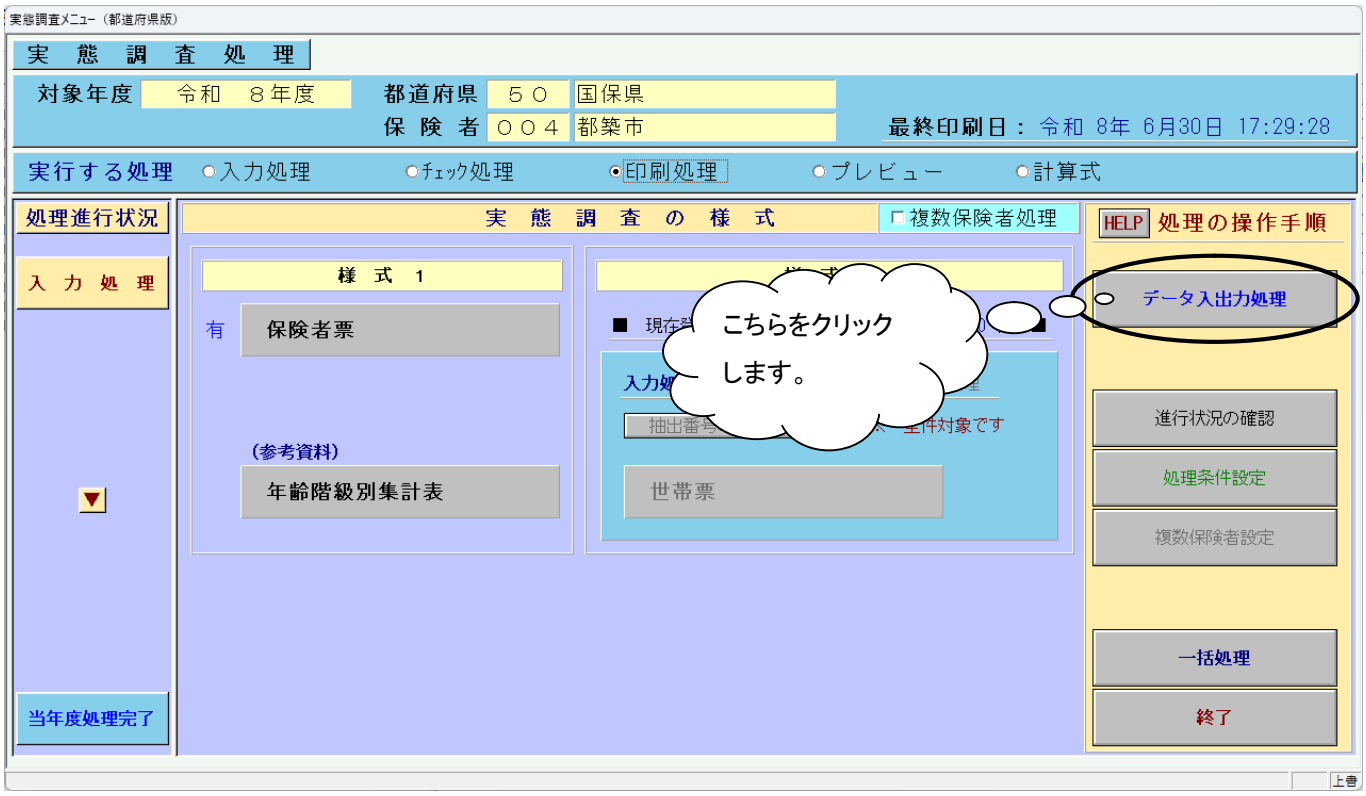
⑤「**保険者票**」ボタンをクリックすると、設定をした保険者の保険者票が印刷されます。

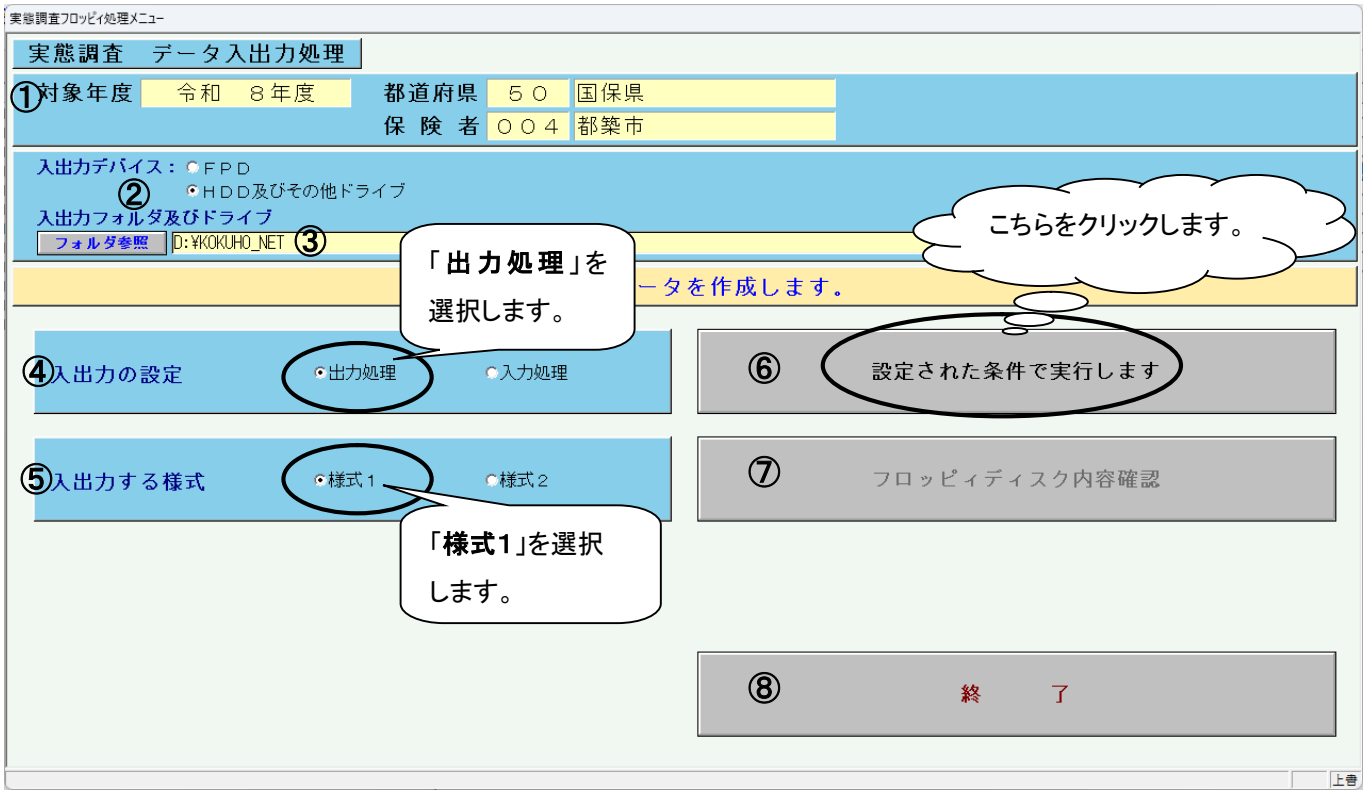
6.「保険者票」のデータ出力処理

データ出力処理が必要な場合、行って下さい。

1件の保険者に対して1ファイルになり、1件ずつの処理になります。

「**データ入出力処理**」ボタンをクリックします。





①設定されている年度／都道府県番号／都道府県名、保険者番号／保険者名を表示します.

※都道府県版および市町村合併対応版では、保険者番号を変更する事が可能です。

②出力及び入力に使用するフォルダおよびドライブを選択します。

③②の使用ドライブで選択されたドライブ名及び、HDDを選択した場合の使用フォルダを表示します。

④報告データを作成する場合は「**出力処理**」、データを読み込む場合には「**入力処理**」を選択します。

⑤入出力する様式を選択します。

⑥⑤項までに設定した条件で、データの作成（読込み）作業を実行します。
全ての条件が設定できましたら、このボタンをクリックして下さい。

⑦フロッピィに作成した場合、フロッピィの内容を確認する事ができます。
確認できる内容は、「**年度・都道府県番号・保険者番号**」です。

⑧データ入出力処理を終了して、実態調査メニューに戻ります。

（ｉ）フロッピィディスクに出力する場合

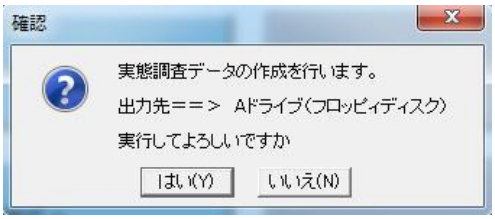


①入出力デバイスを「**ＦＰＤ**」に変更します。　（初期表示時は「**ＨＤＤ及びその他ドライブ**」です。）
変更すると直下の項目に「**Ａ：**」と表示されます。

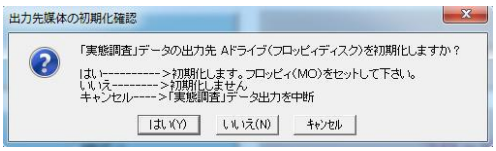
※通常フロッピィドライブが１台のみの場合はＡドライブとなりますが、諸事情によりフロッピィドライブが他のドライブ（例：B:¥等）の場合は、「補助処理」＞「運用環境の設定」よりドライブを変更してください。

②各条件が設定できましたら、「**設定された条件で実行します**」ボタンをクリックして下さい。

１）下図の確認ダイアログが表示されますので、フロッピィをセット（ドライブを準備）して、「**はい**」ボタンをクリックして下さい。

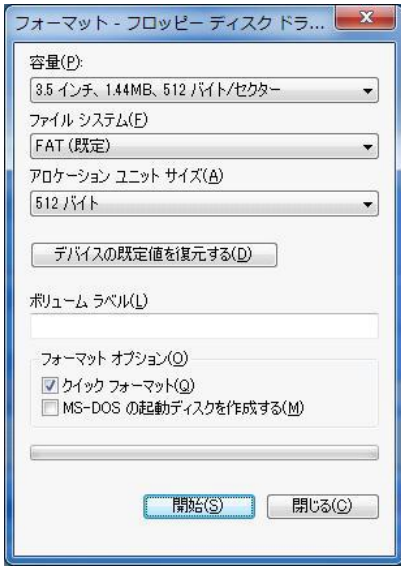


２）出力先に「ＦＰＤ」を選択した場合は初期化の確認ダイアログが表示されます。

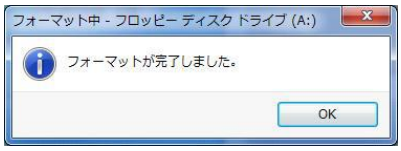


・出力先を初期化する場合は、「**はい**」ボタンをクリックして下さい。
・初期化しない場合は、「**いいえ**」ボタンをクリックして下さい。
・処理を中断する場合は、「**キャンセル**」ボタンをクリックして下さい。

３）初期化をする場合は初期化のダイアログが表示されます。（ＯＳにより多少異なります。）



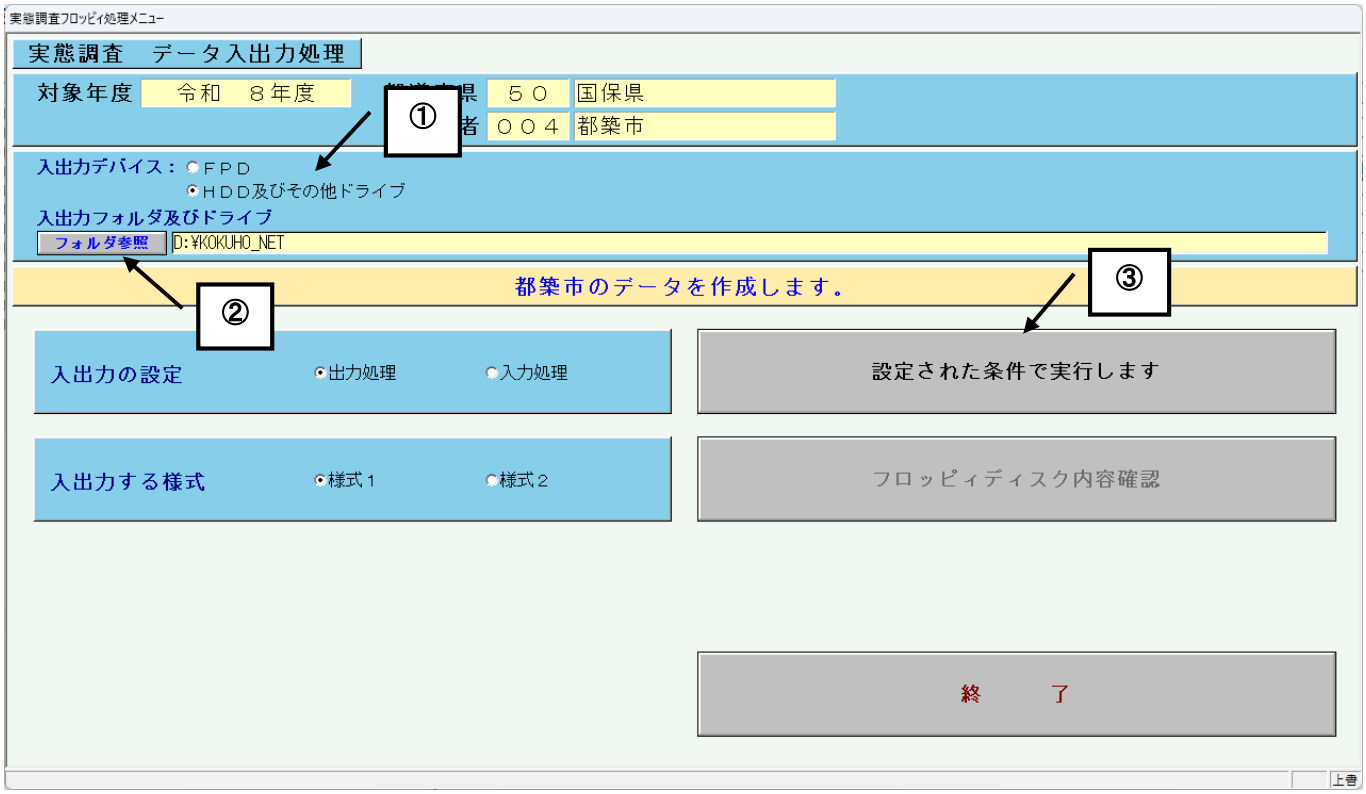
左図のダイアログはＷｉｎｄｏｗｓの標準機能
を呼び出していますので、詳細はＯＳ添付の資料をご参照下さい。
容量などの設定を確認して「**開始**」ボタンをクリックして下さい。



初期化が終了すると、左図のダイアログが表示されますので、
「**ＯＫ**」ボタンをクリックして下さい。

４） ３）の画面に戻りますので、「**閉じる**」ボタンをクリックして下さい。
データの出力を開始します。

（ⅱ）ハードディスクやその他のドライブ（ＵＳＢメモリ等）に出力する場合



①入出力デバイスに「**ＨＤＤ及びその他ドライブ**」を選択します。

選択すると直下の項目（必須表示項目）に運用環境のドライブ及びフォルダが表示されます。

※　この項目が空白のまま出力処理を実行しますとエラーとなりますので十分注意して下さい。

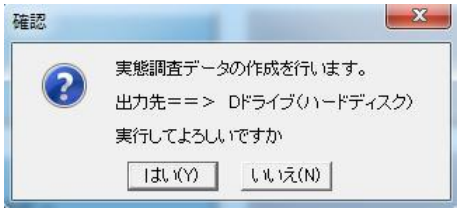
②「**フォルダ参照**」ボタンよりファイルの保存先が設定できます。（※ 空白時には設定が必須です。）

「**フォルダ参照**」ボタンを押すと、下図のような参照画面が表示されますので、任意のフォルダを指定します。



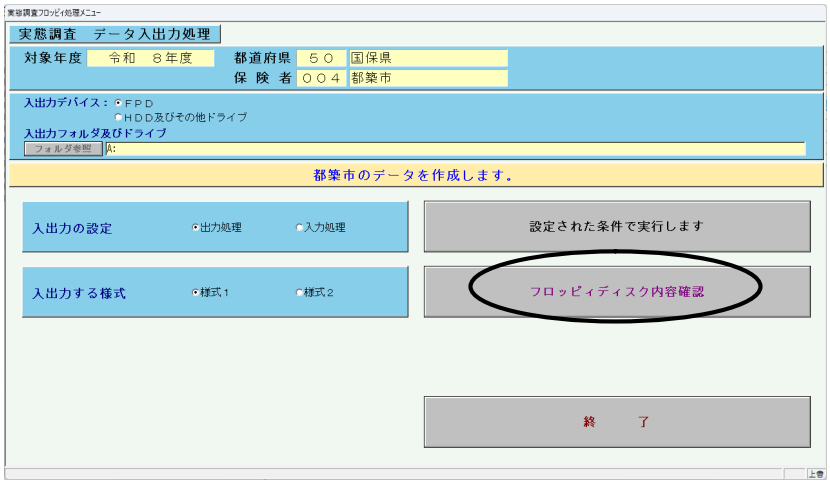
※ ファイルの保存先を変更して、出力処理を実行しますと運用環境のドライブ及びフォルダが変更したドライブ及びフォルダに更新されます。

③各条件が設定できましたら、「**設定された条件で実行します**」ボタンをクリックして下さい。
下図の確認ダイアログが表示されますので、「**はい**」ボタンをクリックして下さい。



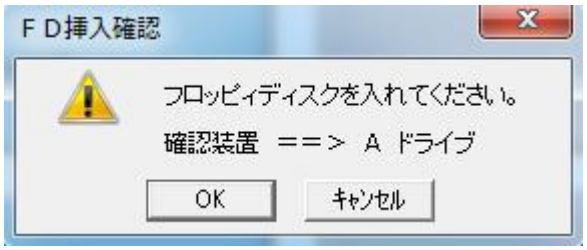
≪フロッピィディスクの内容を確認するには≫

出力をしたフロッピィディスクの内容を確認する事ができます。



①「**フロッピィディスク内容確認**」ボタンをクリックします。

②フロッピィディスクをセットし、「**OK**」ボタンをクリックします。



③実態調査では特に都道府県での処理がないため、「**保険者で作成された実態調査のデータです。**」と表示されます。



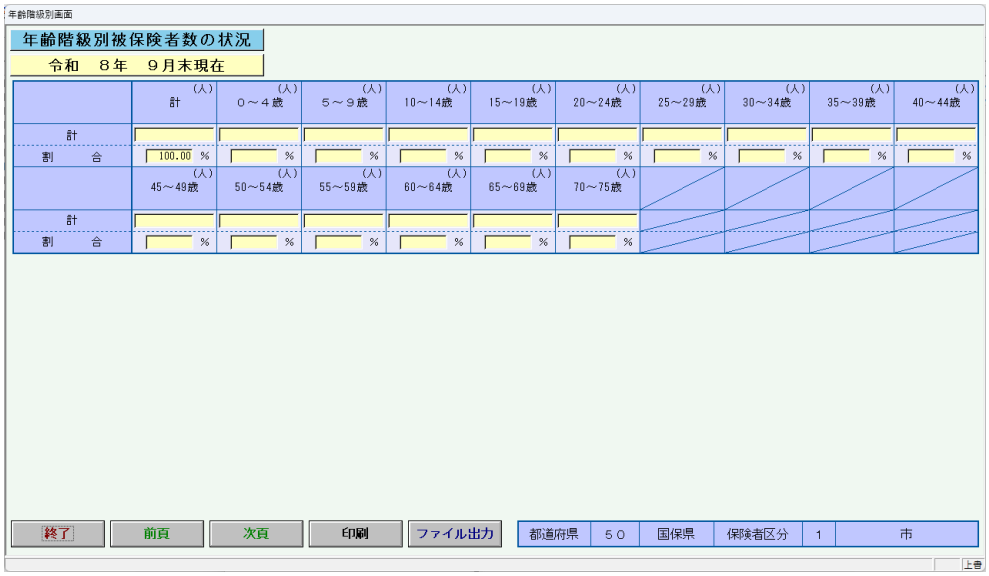
7. 年齢階級別集計表（参考資料）

読込みをした保険者のデータを、市区町村別年齢別で集計したものです。



①入力処理を選択します。

②「**年齢別階級別集計表**」ボタンをクリックします。



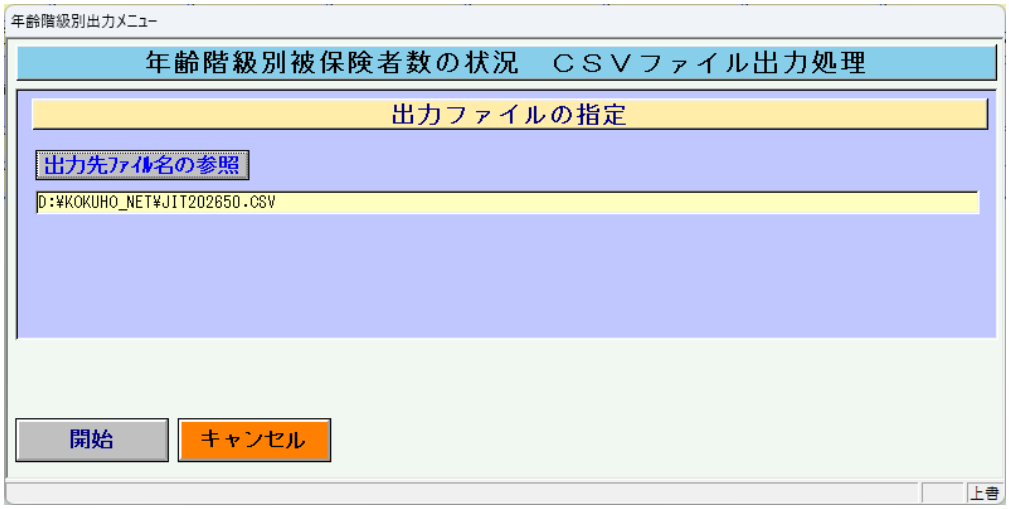
③左図は「都道府県内全体の市」を集計したものが表示されています。

④「**次頁**」ボタンをクリックすると、「町」や「村」など設定のしてある区分の集計表が表示されます。

⑤印刷をしたい場合は「**印刷**」ボタンをクリックして下さい。

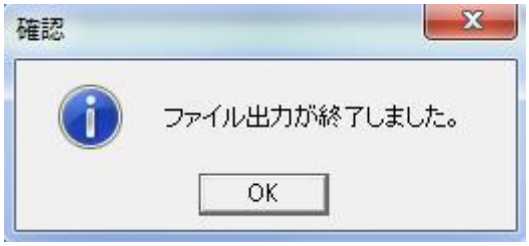
☆市町村毎の年齢階級別被保険者数の状況をCSV形式でデータ出力する事ができます。
　このファイルは、エクセルなどの表計算ソフトで読込みをする形式に出力できます。他の業務で必要な場合に、ご活用下さい。

①年齢別階級別集計表画面の「**ファイル出力**」をクリックします。



②ドライブの指定をします。
フロッピィディスクに出力する場合は「A」ドライブ、ハードディスクに出力する場合は出力をしたいドライブとフォルダを指定します。

③「**開始**」ボタンをクリックします。



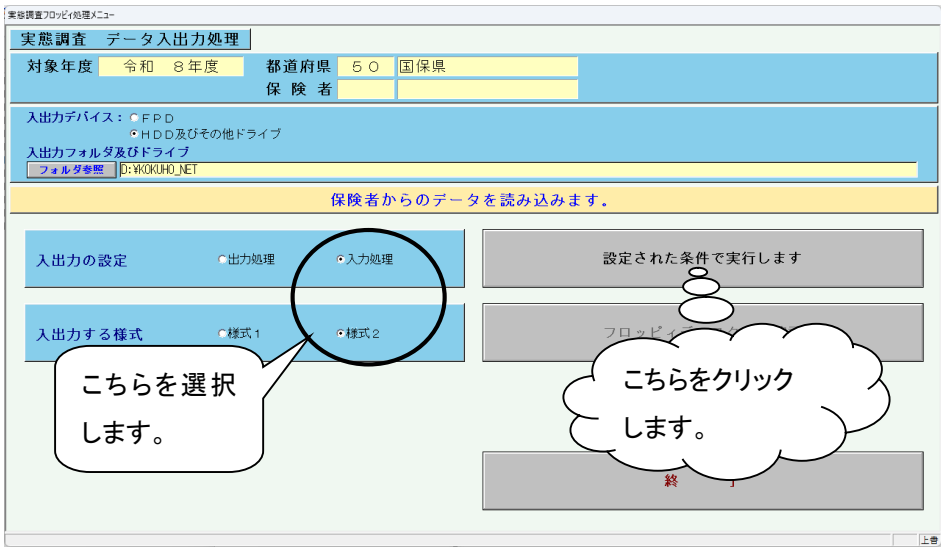
④CSVファイルが出力されます。

8.「世帯票」を処理するには

（1）「世帯票」保険者データの読込みは、保険者票の読込と操作は同様となります。

①「**データ入出力処理**」をクリックします。





②入出力の設定で「**入力処理**」を選択し、入出力する様式で「**様式2**」を選択します。

③ファイルが保存されている場所を選択します。

④全ての条件の設定ができましたら、読み込みをしたいフロッピィをセットし「**設定された条件で実行します**」ボタンをクリックします。

9.「世帯票」を印刷するには

印刷処理が必要な場合、行って下さい。

印刷処理をするには、3つの方法があります。

A. 設定のされている保険者の世帯票全件を一度に印刷する
B. 設定のされている保険者の指定した世帯票のみ印刷する

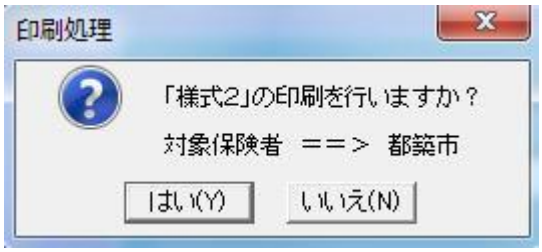
A. 設定のされている保険者の世帯票全件を一度に印刷する



①実行する処理で印刷処理を選択します。

②「**世帯票**」ボタンをクリックします。

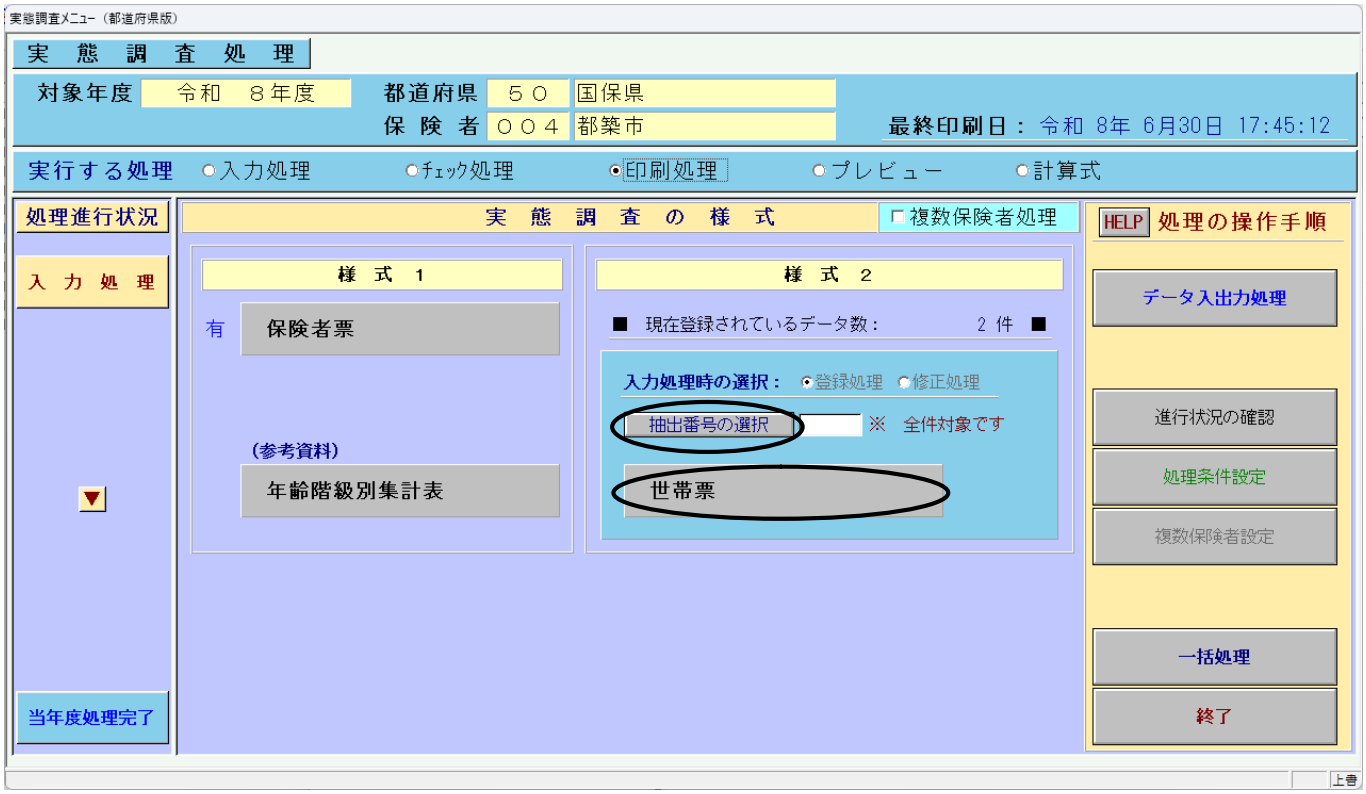
③下図のダイアログが表示されますので、よろしければ「**はい**」をクリックします。



④印刷処理を行います。

※保険者の変更は「**処理条件設定**」で変更して下さい。

B. 設定のされている保険者の指定した世帯票のみ印刷する

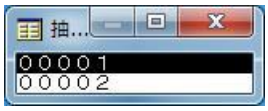


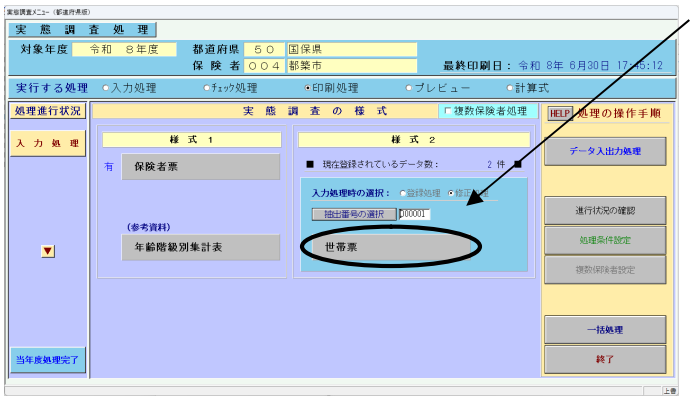
①特定の世帯票のみ印刷するには、「**抽出番号**」を設定します。

②「**抽出番号**」が分かる場合には、その番号を入力します。（④へ）

③番号が分からない場合には「**抽出番号の選択**」ボタンをクリックし、一覧を表示させます。

該当する抽出番号をダブルクリックすると番号が表示されます。





④番号が表示されると、赤字の「**※　全件対象です**」が消えます。

⑤「**世帯票**」をクリックします。

指定した世帯票のみが印刷されます。

10.「世帯票」のデータを出力するには

データ出力処理が必要な場合、行って下さい。

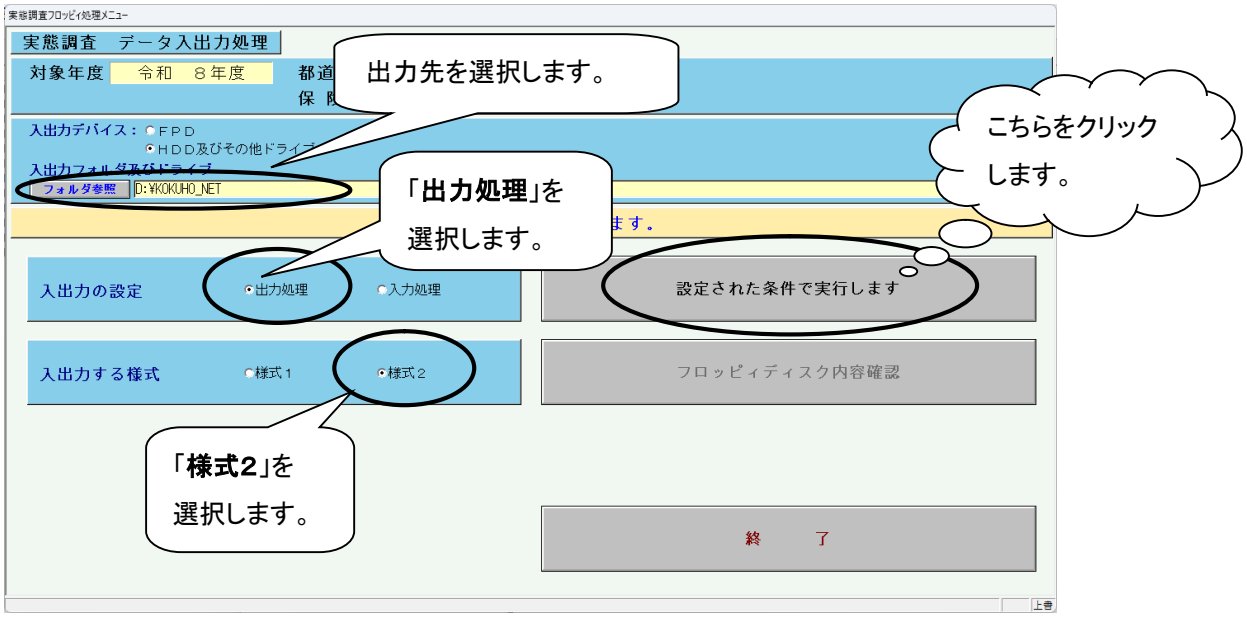
1件の保険者に対して1ファイルになり、1件ずつの処理になります。

出力の操作は、保険者票と同様になります。



①「**データ入出力処理**」ボタンをクリックします。

②データ入出力処理画面が表示されます。

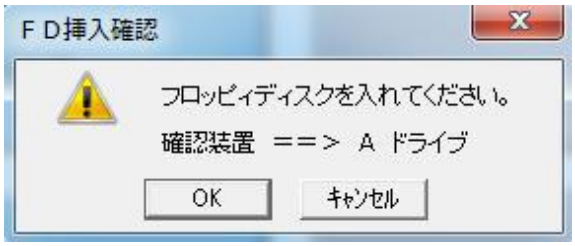


③データ出力先の指定は、保険者票と同様の操作となりますので、「6. 保険者票のデータ出力処理」を参照ください。

④全ての条件の設定ができましたら、「**設定された条件で実行します**」ボタンをクリックします。

≪フロッピィディスク内の内容を確認するには≫

データ入出力処理画面で「**フロッピィディスク内容確認**」ボタンをクリックします。



左図のダイアログが表示されますので、「**OK**」ボタンをクリックします。



①データの年度を表示します。
②都道府県番号・都道府県名を表示します。
③保険者番号・保険者名・登録をした世帯票の抽出番号を表示します。

実態調査では特に都道府県での処理がないため、「**保険者で作成された実態調査のデータです。**」と表示されます。

※ 当機能はフロッピィに非圧縮で出力した場合のみ使用できます。

11.「世帯票」の修正をするには

世帯票の修正をするには、設定のされている保険者の抽出番号で世帯票を呼び出します。



①入力処理時の選択：修正処理を選択します。

②「**抽出番号の選択**」ボタンの横に、直接抽出番号を打ち込みます。（④へ）
　抽出番号が分からない場合は、「**抽出番号の選択**」ボタンをクリックします。

③現在登録されている抽出番号が表示されますので、該当する抽出番号を
　ダブルクリックします。

④抽出番号が表示されている事を確認し、「**世帯票**」をクリックします。

⑤世帯票の修正を行ないます。

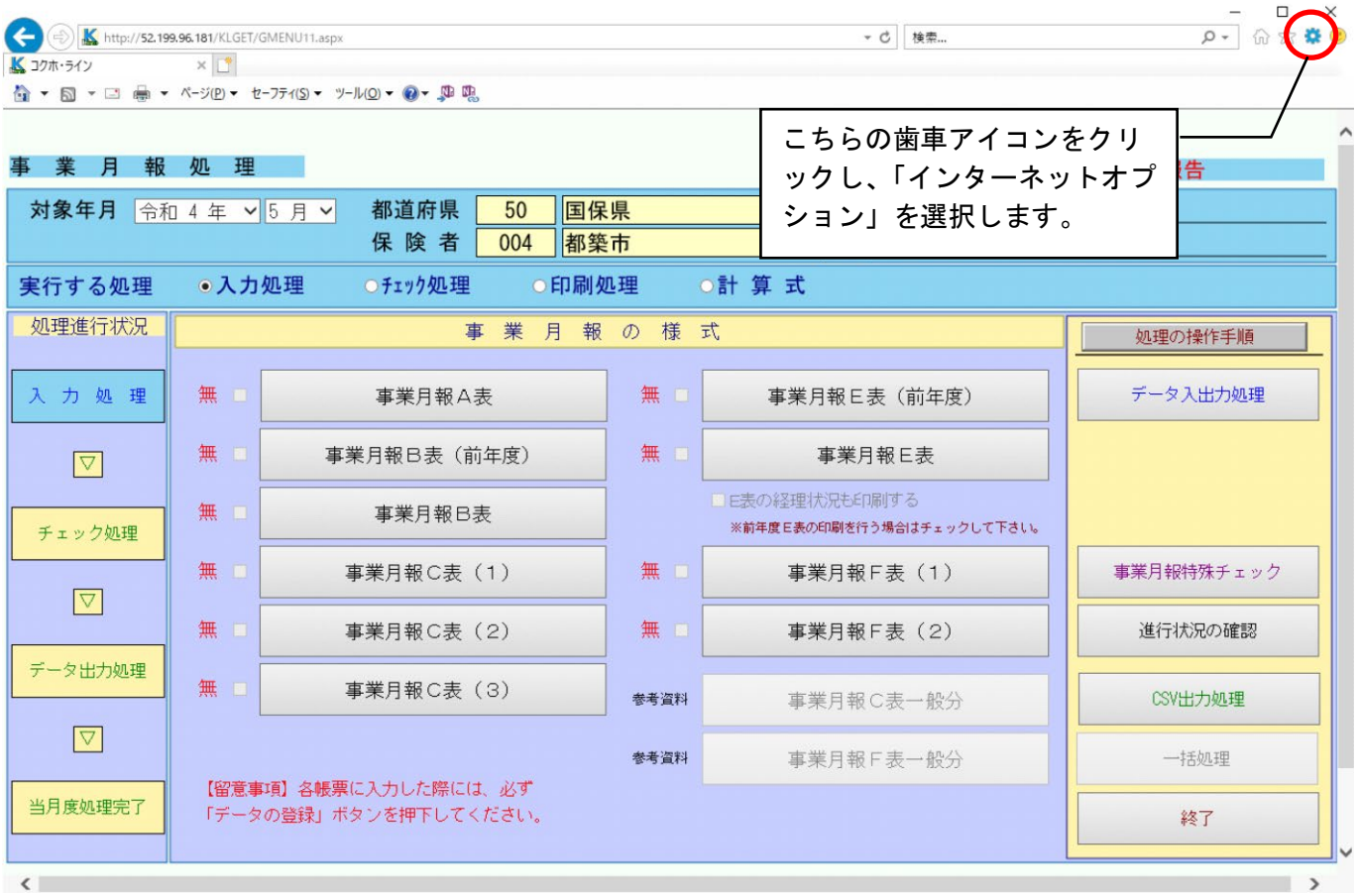


【補足】ブラウザのキャッシュクリアについて

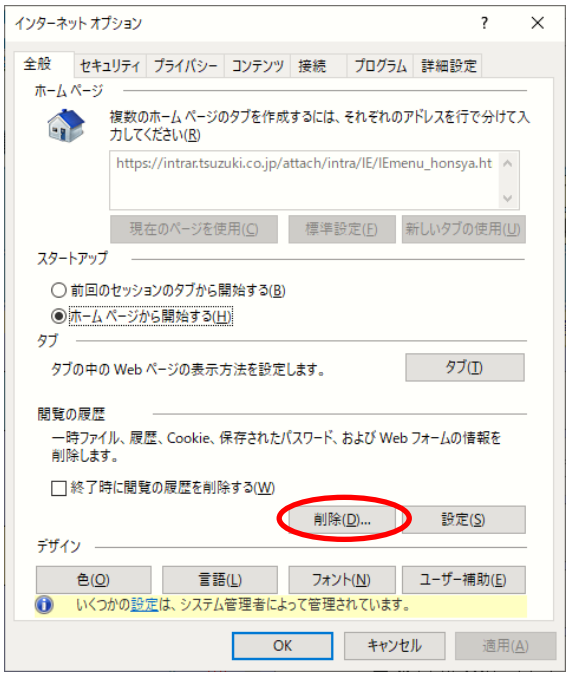
ブラウザにＩＥを使用されている場合、ＣＳＶ出力処理で連続してファイルを作成すると、設定したＣＳＶファイル名に数字とアルファベットが付加されてしまうことがあります。

その場合はブラウザのキャッシュをクリアすることにより解消されます。

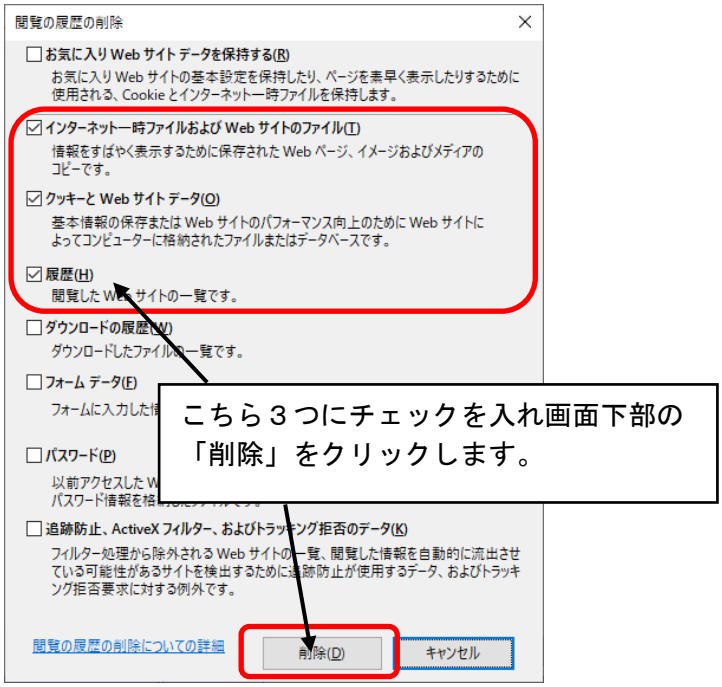
1．キャッシュのクリアはＩＥの設定から行います。ＩＥのウィンドウ右上の歯車アイコンをクリックし、「インターネットオプション」を選択します。



2．インターネットオプション画面の「全般」タブ内にある「閲覧の履歴」の「削除」をクリックします。



３．閲覧の履歴の削除画面が表示されますので、「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」、「クッキーとWebサイトのデータ」、「履歴」にチェックを入れ画面下部の「削除」をクリックします。



４．ＩＥの画面下部に下図のメッセージが表示されましたら、「インターネットオプション」画面を「ＯＫ」で閉じてください。



【補足】Microsoft Edge と Internet Explorer11 の相違点について

ブラウザを Internet Explorer 11 にてコクホ・ラインの操作を行った場合に、Microsoft Edge の画面表示とは異なる表示となる箇所がございます。

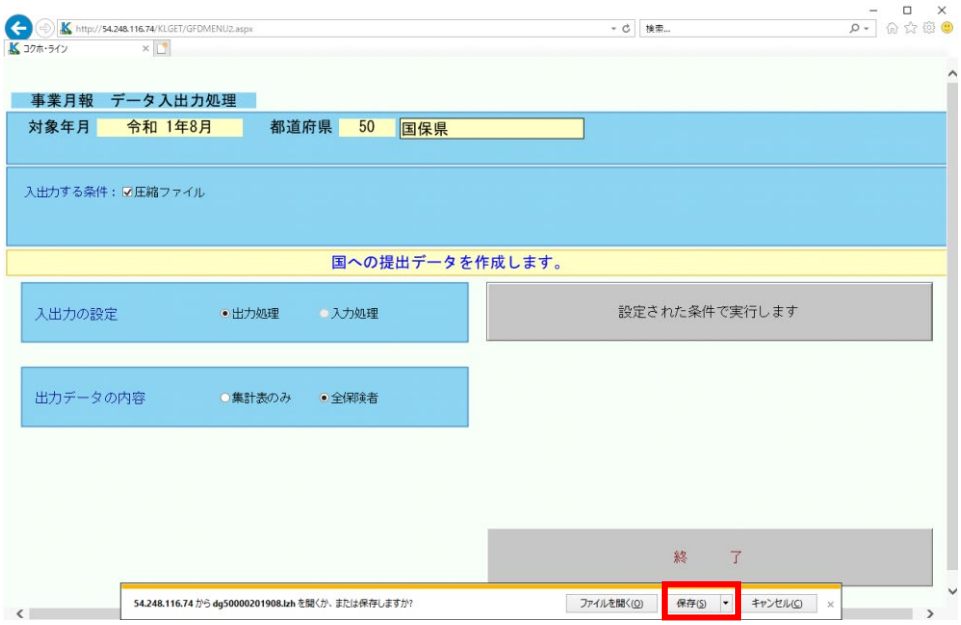
１．Internet Explorer 11 をご利用の場合の帳票の表示ウィンドウの「印刷」「保存」アイコンについて

帳票やチェックリスト、計算式を表示する際のウィンドウが Microsoft Edge と異なり、印刷を行う「印刷」アイコンやＰＤＦ形式にて保存を行う「保存」アイコンは画面下中央の表示となっています。



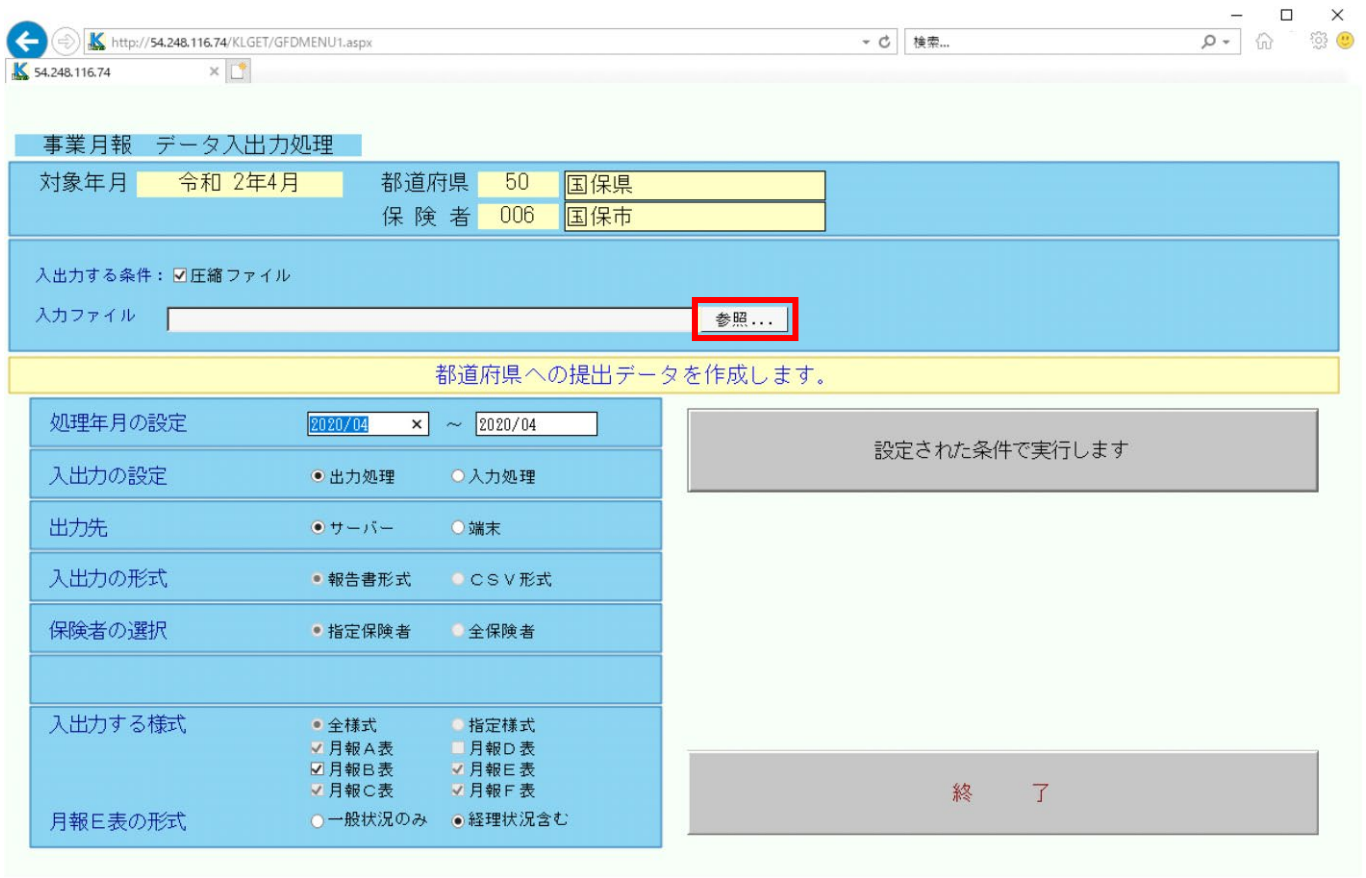
２．Internet Explorer 11 をご利用の場合のファイルダウンロード時の表示について

CSV 出力や報告データを端末に出力した際の表示が Microsoft Edge と異なります。ファイル出力が完了すると画面下部分にポップアップが表示されます。「保存」ボタンをクリックするとご利用端末のダウンロードフォルダに保存されます。「保存」ボタン右隣の下向き矢印をクリックすると任意フォルダへの保存が可能です。



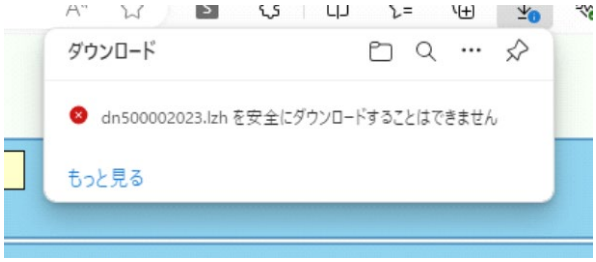
３．Internet Explorer 11 をご利用の場合のデータ入出力処理画面内「入力ファイル」の表示について

Microsoft Edge では「ファイルの選択」ボタンとなっているボタンが、IE11 では「参照」となり、ボタン位置は右側に表示されています。



【補足】報告データの端末へのダウンロード時にエラーが表示される場合の対応方法

報告データを端末に出力する場合、出力完了時に下図のようにエラーが表示される場合がございます。2通りの対応方法がございますので、ご利用の環境にて可能な方法でご対応いただきます様よろしくお願いいたします。

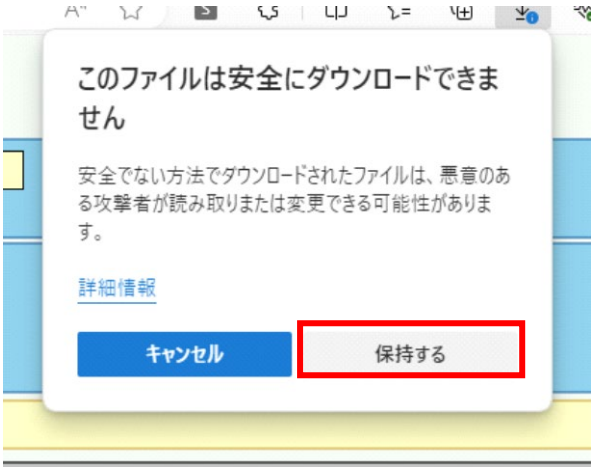


対応方法１．そのままダウンロードする方法

①エラー表示にカーソルを合わせると「…」が表示されますのでクリックします。
②下図が表示されましたら「保存」をクリックします。



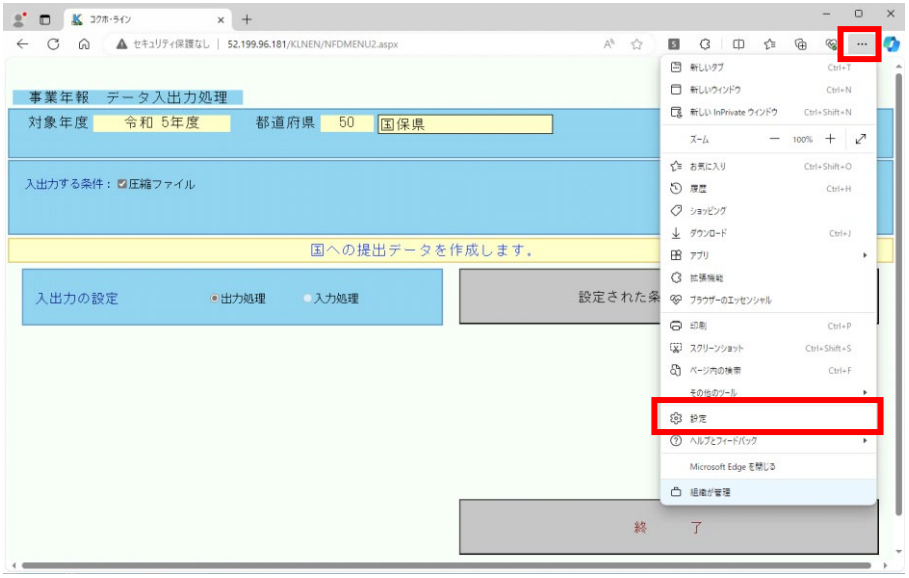
③「保持する」をクリックします。



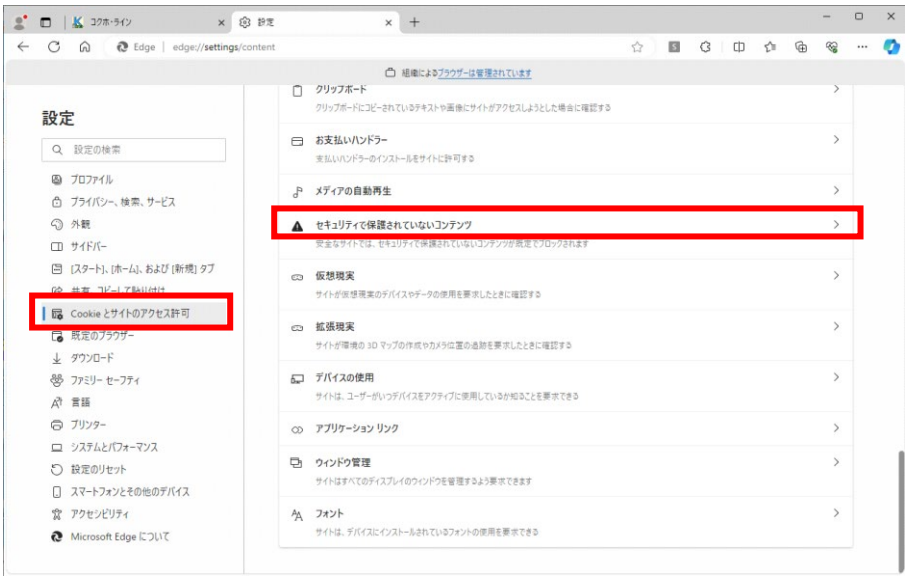
④通常通りのダウンロードの表示がされましたら、ダウンロードフォルダまたは任意のフォルダに格納してください。
⑤一度こちらの対応方法を行っていただいた後も、毎回出力時にエラーが表示されますので、端末へのダウンロードの際は都度上記作業を行っていただきます様よろしくお願いいたします。

対応方法２．Microsoft Edge の設定を変更する方法

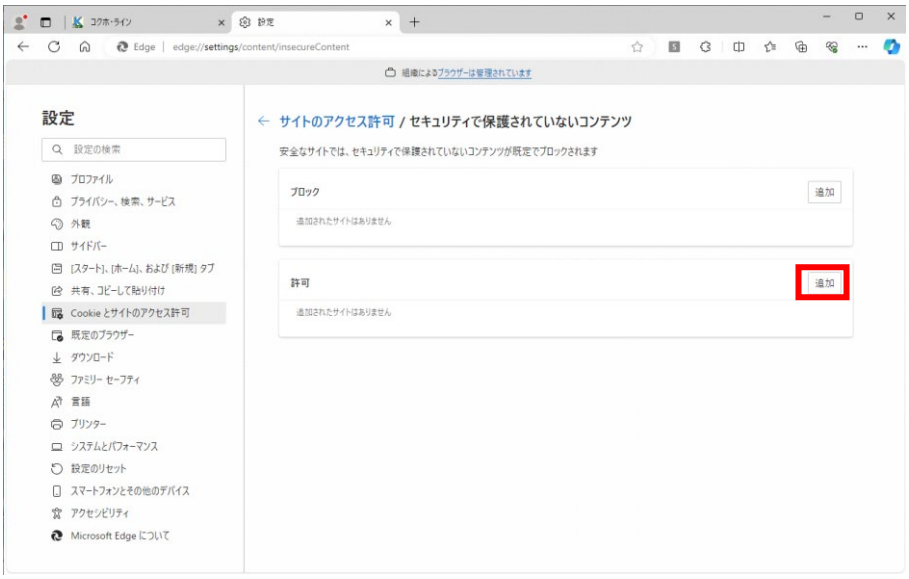
①ブラウザ右上の「…」から「設定」をクリックします。



②「Cookie とサイトのアクセス許可」→「セキュリティで保護されていないコンテンツ」に移動します。



③「許可」の「追加」ボタンをクリックします。



④コクホ・ラインログイン画面の URL をコピーし、「サイトの追加」に URL を入力、「追加」ボタンをクリックするとエラーが表示されずダウンロードが可能になります。



